

西日本がん研究機構・大阪市立総合医療センター

市民公開講座開催報告

市民公開講座「大阪がんフォーラム～がん患者を支える」が2013年2月23日（土曜）に大阪市立総合医療センターさくらホールで開催されました。大阪市立総合医療センターとNPO法人西日本がん研究機構(West Japan Oncology Group)が共催し、大阪市役所医師会が演者と資金面の後援を行いました。

公開講座のメインテーマは「あなたもがんサポーターになろう！」でした。患者による患者のための患者のサポート（ピアサポート: peer support）に関する話題です。

開会の挨拶を九州大学医学部教授・西日本がん研究機構理事長の中西洋一先生にいただきました。

前半の第1部は4名の講師による講演で始まりました。基調講演1は愛媛がんサポートおれんじの会理事長の松本陽子さんが「がんサバイバー・家族で支える患者サポート」というタイトルでされました。自らのがん患者体験をもとに、患者サポートの方法を患者の立場から講演していただきました。近いうちに厚労省が作成したサポートをするためのマニュアルやDVDが完成し、研修などに利用できるようになるそうです。

基調講演2は原純一副院長が「社会が支えるーがん対策基本法・がん対策協議会について」でした。わかりにくい制度をわかりやすく解説していただきました。また小児血液腫瘍科医という立場で、小児がんの現状についても、解説がありました。

基調講演3は医療センターの医療ソーシャルワーカーをされている大浜江美子さんが「地域における患者サポートー総合医療センターの取り組み」というタイトルで、医療ソーシャルワーカーの一般的な仕事内容を紹介した後に、大阪市立総合医療センター患者支援センターの取り組みを紹介していただきました。

基調講演4は話題を変えて、武田晃司臨床腫瘍センター長から「がん患者に最適化した治療の実現に向けて」というタイトルでがん薬物療法の解説、分子標的薬、個別化治療、臨床試験をわかりやすく解説していただきました。現在闘病中、あるいは治療が済んで、経過観察中の患者さんやご家族の視聴者が多いので、みなさま熱心に講演を聴かれています。

予定していた時間を大幅に延長して、前半の基調講演が終わりました。休憩時間中にWJOG広報部が制作発行した日本肺癌学会公認のガイドブック「よくわかる肺がん」の紹介もありました。この本はインターネット上で無料公開されており、実費で郵送していただきことも可能です (<http://www.wjog.org/library/library09.html>)。

後半は「あなたもがんサポーターになろう！」というテーマで、6人のパネリストに登壇していただきました。基調講演演者の松本陽子さん、原純一副院長、大浜江美子さんに加えて、大阪市立総合医療センターがん患者会「ルピナス」代表の植田珠實さん、田中正博放射線腫瘍科部長が加わりました。それぞれの立場から、がんサポーターになるためにはどうすればよいか。という熱い討論が交わされました。結論は一言では言えないのですが、「病院や行政の機能も重要である。しかし、それ以上に、患者と家族、友人、周りの社会（コミュニティ）による患者による患者のための患者のサポート（ピアサポート）」が重要である。という印象でした。

フロアから一般市民の方からどのようにすれば私もサポーターになれるのかといった積極的な質問や患者会代表の方からの活動発言も多数ありました。大阪がんええナビ制作委員会代表濱本満紀さん、リレー・フォー・ライフ・ジャパン大阪実行委員会委員長増田悦子さん、事務局長増田岳史さん、口腔・咽頭がん患者会会長三木祥男さん、・・・、多数の方のご発言や活動の紹介がありました。

閉会の挨拶は多田弘人副院長からいただきました。

定員 300 名のさくらホールがほぼ満席となる大盛況でした。

総合司会と進行は岐阜市民病院臨床腫瘍センター長 澤 祥幸先生でした。会場設営・受付は主催者の大阪市立総合医療センター患者支援センタースタッフ一同とWJOGスタッフが受け持ちました。皆さま、どうもお疲れ様でした。

なおこの講演会はインターネットで視聴することができる予定です。

<http://www.wjog.org/video.php>

文責：田中正博